

クマに注意！！

通年で遭遇の可能性があるクマですが、秋の時期は特に冬眠に備えて栄養を摂取しようと活動をしているので一層の注意が必要です。下記の事項を確認して、クマとの遭遇をなくすような行動を心がけてください。

1. クマを人里に寄せ付けない（近づけない）ために

① 庭先の果実を放置しない、収穫（撤去）する

秋には、多くの果樹に実がなります。この果実（例：柿等）は、熊にとっても格好の餌となります。

収穫の時期を迎えたものはあまり日をおかずに収穫をしましょう。

また、収穫の予定のないものは早めに実を落として撤去し、生活圏にクマの餌が残らないようにしましょう。

② 餌となりそうなものをなるべく放置しない

クマは雑食です。上記の果実以外にも割と何でも食べます。

家畜の餌や生ごみ等を野ざらしで長期間放置するようなことはやめましょう。

③ 野生動物が人里に近づきやすい環境を少しでも減らす

熊に限らずですが、野生動物は山から人里に下りてくる際にヤブなどを利用し姿を見られないように行動します。人里で至近距離からの遭遇を避けるため、荒れた山際の農地等はなるべく草を刈り人里への接近を難しくしてあげましょう。

2. クマと出会わないようにするために

① 自分の存在を知らせる

屋外で活動するときは、自分の存在を知らせるために、クマ鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。

3. 遭遇してしまったときは

遭遇時に被害を回避する万全の方法はありません。

遭遇を予防することを日頃から心がけることが重要です。

① 遠目で発見した場合は、慌てずに立ち去る

クマから目を離さずゆっくり後ろに距離を取る。

クマに背を向けて逃げないこと。クマは本能的に逃げる相手を追います。

② クマを刺激しない、大声や手近なものを投げたりしない

クマを刺激して、敵と認識されないようにしましょう。



大月市役所 産業観光課 農林業担当
TEL:0554-20-1833